

あかひん

わが町、わが店、この道一筋。出逢いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ <http://www.akai-shinbunten.net> <発行所>あかい新聞店 武豊店/知多郡武豊町字金下37番地 ☎0569-72-0356 常滑店/常滑市市場町4丁目167番地 ☎0569-35-2861

企画・制作：株式会社 新聞ビル

クロスメディアを総合力でプロデュースする

PTC GROUP

半田中央印刷株式会社

〒475-0032 愛知県半田市潮干町1番地の21
TEL 0569-29-2525 (代) FAX 0569-29-4500
<http://www.handa-cp.co.jp>

新シリーズ ヒューマンライフ

『新・現代家庭考』就職 —自分ドラマつくろう— (102) 岡田清治



■プロフィール

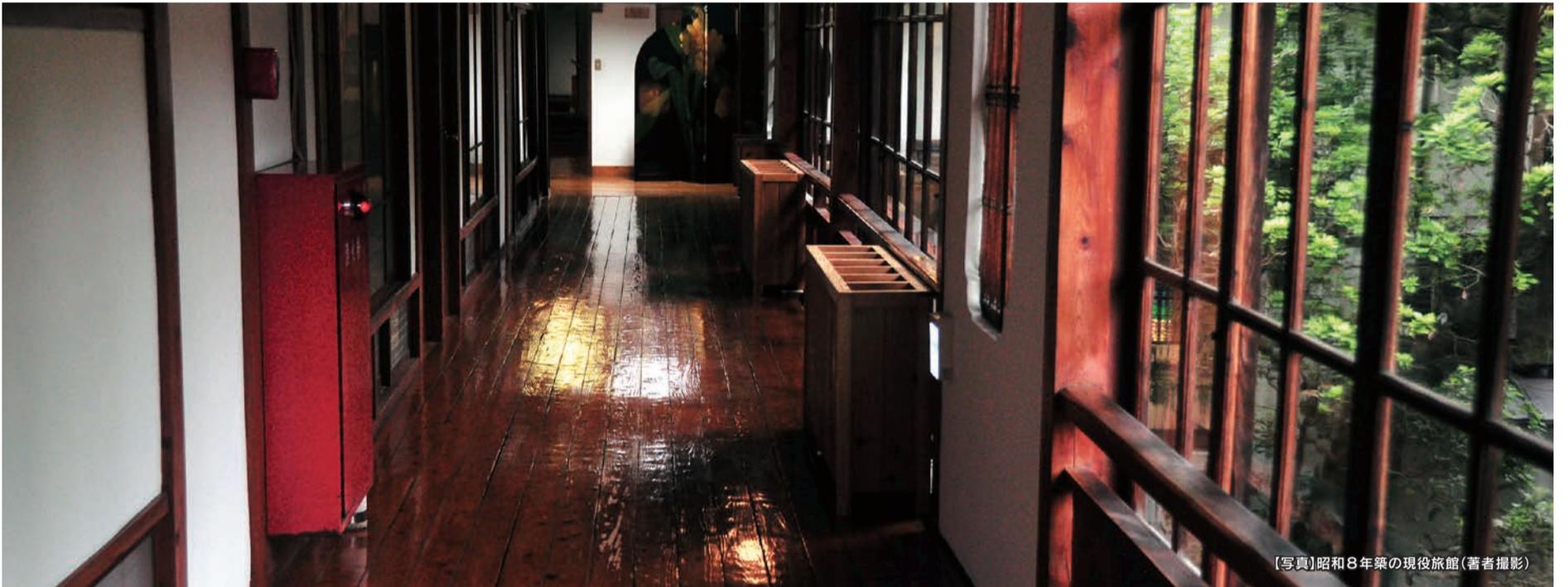
著者：岡田清治 (おかだ・せいじ)

1942年生まれ ジャーナリスト(編集プロダクション・NET108代表)

著書に『高野山開創千二百年 いっばんさん行状記』『心の遺産』

『あなたは社員の全能力を引き出せますか』『リオンで見た虹』など多数

※この物語に対する読者の方々のコメント、体験談を下記のFAXかメールでお寄せください。
今回は「就職」「日本のゆくえ」「結婚」「夫婦」「インド」「愛知県」についてです。物語が進行する中で織り込むことを試み、一緒に考えます。
FAX: 0569-34-7971 メール: takamitsu@akai-shinbunten.net



【写真】昭和8年築の現役旅館(著者撮影)

姪の就職2

「考えてみると、我々も親の立場からしたらその関係は希薄だと感じていただろうね」

真三は我が身を振り返って後悔することばかりである。親孝行したいと思う時には親はいない。もう少し寄り添って望みをかなえてあげれば、親の死後、これほどまで反省の念に駆られることはないのだ。

ところで先の理知的なサラリーマン女性が真三の部下だったことがある。その頃、独立心の旺盛な女性だと、秘かに尊敬の念を抱いていた。やがて語学教室で知り合った大企業の技術者と結婚。一流ホテルで式を上げ、マンションを購入し、自前のできるほど高給取りではない。相手か自分の両親が面倒を見てくれることは明白だ。

ある若者夫婦の場合、さすがに娘の母親は、分不相応のマンションですと、苦言を呈したので諦めた。ところが、男の母親は「私どもが支援します」ということで、娘の母親は黙って入りました。相手は自慢の息子のところに、すばらしい嫁が来てくれたと手放して喜んでいられるからである。と同時に未来に向けての投資だと考えている。いざ世話になるときに来るので、いわば保険をかけておこうという下心も感じる。いまから十分なことをしておけば将来助けてくれると、息子の嫁に気に入られるようにしたい。そんな気持ちも強く働く。

息子を嫁に取られたと思う母親と、獲得したの大事にしたいと考える母親の明暗がこういうところに現れる。ただ実際、ことが思うように運ぶか未知数である。

「嫁と姑の関係は複雑でやっかいな問題ですね」「るりは同居になったからその点は助かったのではないか」

「確かにその点は良かったわね。姉を見ていると姑にいじめられて実家に帰ってきたことが、いまも思い出されるわ」

「姉さんは結婚をすましていた人を振って、旦那に嫁いだのだから。そうであれば多少のことには堪えないとダメだろう」

「それはそうですね」
だからか、人口が大都市に集中し始めると、核家族という言葉が流行。親子は離れて暮らすようになる。田舎で元氣な間、あるいは近くに住んでも同居しない。

「この前、知人から聞いた話だが、88歳のお父さんは女房が亡くなってから認知症が急速に進んだぞうだ」

「そのパターンが多いようですね」
「そうだが、困ったことに認知症が進んでも、足腰が丈夫なら動き回るといふのだ」

「動けるのだらう。たらいのではありませんか」
「ようやく自動車は廃車したのだが、朝の三時ごろから起きて両家の墓の掃除に出かけるというのだ。毎日だよ……」

「それは大変ですね」

「止められないぞうだ」

「心配ですね」

「墓で思いついたのだが、るりもしばらく両親の墓参りに行っていないだろう。僕も熊本の人から会いたいと言ってきたので、計画を立てようか」

「そうですね」

「姉さんや妹にも声をかけるだろう」

「姉さんは独り身になって、長男のいる福岡へ行ってしまったので、今回は声をかけません。それと熊本の妹の旦那さんが真三に会いたがっているみたいですよ」

「この際、おこうか」

「妹に伝えます。喜んでくれますよ」

「そうか、久しぶりだからな。ただ、昼間しか時間が取れないよ。夕方は友人と会う約束だから……」

真三は熊本への旅を計画、カレンダーで日時列車の時刻表、宿泊先を決めながら時折、るりの意見も聞いて取り入れた。今回の旅行を「熊本旅日記」として残し、友人にも近況報告として配信している。

「今回は二年ぶりの訪熊ですが、かつてはハートナーの故郷でもあるので、両親が健在な間は年に二、三回出かけていました」

熊本地震後、初めて訪れました。一ヶ月前に予約しましたが、梅雨入り寸前で天候に恵まれました。熊本駅は安藤忠雄設計による熊本城の武者返しの石垣をイメージした駅に驚きました。すっかり見えるようなモダンな風景が広がっていました。

表面的には城以外に地震の痕跡は見当たりませんし、街はこみもなく、森の都と言われるだけあって、楠の大木など街全体が新緑で包まれていました。

今回は三〇年来の友人S(現役の誘いで決断しました。まず義理の妹夫婦と城の隣の郷土料理店「青柳」で食事をしました。昼食時、テーブルはお客様で埋まっていた。義理の妹の夫Wは器用で鉄人のような男です。熊本のポーターからはじまると熊本ヨット連盟の会長を兼ね、いま暇を見つけて住まい近くの江津湖で早朝、ポーターを浮かべゆったりした時間を過ごしているとか。

話はポーター談義でした。真三はまったく縁がなかったもので、もっぱら聞き役でありました。五月末には大阪・高石市で開かれた全国シニアポーター競技大会に参加、エイトで金賞をもらったぞうです。平均年齢七十一歳で総勢一千人を超えるポーター狂の人たちが集まり、その馬力を敬意を表した次第です。Wは定年後、自前のヨットで夫婦のみで日本一周の快挙を成し遂げています。

つい最近まで母校の済々黉のポーター部で指導もしており、現在は近くの私学の高校で地理を教える現役教師です。彼の趣味も多く、合唱(コーラス)、茶道、俳句、横笛、オカリナ、彫刻、生け花などを楽しんできたようです。

食後、義理の妹夫婦と女房の三人はWの家に行き、談笑を続けました。小生は近くの熊本キャッスルホテルで休み、友人Sと午後6時に会って、下通り(熊本の本銀座通り、上通りもある)から入った路地に立つ小さな雑居ビルの中にある「小料理 清正」に出かけました。

ここで初めて熊本地震が人々の心に大きな痕跡を残していることを知りました。店はカウンター1席4席と2畳程度の座敷敷に小さなテーブルが2つ所狭し並んでいます。女将一人で切り盛りしています。材料の仕入れだけは「高級です」と胸を張っておられました。確かに刺身、馬刺しなどどれも新鮮でおいしかったです。とくに馬の肝(なかなか手に入らないとか)、シヤコ(てんぷらは格別でした)。

友人Sは酒豪で「瑞鷹(瑞鷹)の純米大吟醸が金賞を受賞、手に入らなかったですが、蟬」というブランドのものを持つてきました」と、残念な顔を見せながら720mlの1本と店のお酒で十一時近くまで三人で人生を語り合いました。やはり会うことの大切さを知りました。(後日、金賞のお酒を自宅に贈りました)

それで地震の痕跡ですが、女将の店は地震前上通りのビルの中にあつたぞうです。ところが地震でビルが半壊、オーナーはたんまり補助金が出たので建て替えることになり、テナントの多くは入居の涙金で追い出されたぞうです。それで先の場所に泣く泣く移り、女手ひとつで頑張っているのです。彼女の人生も苦労が多かったようですが、生きることを教えてもらいました。店を出たのは十一時前でした。

翌日、熊本から九州の小京都と言われる人吉に向かいました。結婚したころ義兄がおつたので人吉に行つたのですが、記憶に残っていません。熊本から観光列車「かわせみやませみ」の2両連結の豪華列車に乗り込みました。行きはカワセミ車両で、私以外には台湾からの団体客でした。球磨川に沿って列車は走り、1時間あまりで人吉駅に着きました。途中、役所の人たちが旗を振って迎えてくれるという、初めての経験もしました。

観光協会で紹介を受けたのは、「人吉旅館」(創業・昭和8年、国登録有形文化財)ともう一つのホテルでしたが、韓国籍の女将の人吉旅館にしました。木造の古い建物でしたが、昭和の時代の懐かしい旅館で前を球磨川が流れていました。天然温泉で料理もよかったです。純米酒が一つもないのが、玉にキズでした。ここは焼酎の街でした。旅館の前に与謝野晶子の「川あをく 相良の町の 蔵しるし 蓮の池に うかべるごとく」の碑が置かれていました。

私の出会った作品 (40) 杉本武之

【序】日本映画(その1)
 ◎日本映画の黄金時代
 戦争前の昭和14年(1939)に生まれた私は、今年で80歳になりました。こんなに長く生きられるとは思っていませんでした。

80年という長い年月を生きてきて、何が最も幸運だったか。それは、私の青少年期が日本映画の最盛期と重なっていたことです。10歳から20歳までの多感な青少年時代の10年間が、正に日本映画の輝かしい黄金時代だったのです。

敗戦後間もない日本に、稀に見る充実した一時期が映画の世界で現出しました。それは、西鶴、近松芭蕉などを輩出した元禄時代の文学の世界、そして歌麿、写楽、北斎らが活躍した寛政から文化文政時代の浮世絵の世界に匹敵するほどの黄金時代でした。

特に黒澤明、小津安二郎、溝口健二の三人の活躍は目覚ましく、彼らは現在でも世界映画の最高峰に位置付けられ、映画を愛する世界中の人々から尊敬されています。

『榎山節考』今井正『また逢う日まで』『ひめゆりの塔』『ごりえ』『ここに泉あり』『キクとイサム』市川崑『ルマの賢妻』『炎上』『野火』山本薩夫『真空地帯』『荷車の歌』新藤兼人『原



『東京物語』

懐の情が湧き出るでしょう。暗い貧困生活を送っていた私たちは、同じく暗い映画館の中で、生きる力と勇気と希望を与えてくれる数々の名作を観ていたのです。

『2001年宇宙の旅』『市民ケーン』『タクシードライバー』『地獄の黙示録』『ゴッドファーザー』『めまい』『鏡』『自転車泥棒』……。映画史上最高の作品に選ばれた『東京物語』を作った監督は、もう50年以上も前に亡くなった小津安二郎です。彼は実に魅力的な人でした。

彼はこんなことを語っていました。『僕の生活信条として、何でもないことは流行に従う。重要なことは道徳に従う。芸術のことは自分に従う』

小津は、明治36年(1903)12月12日に東京で生まれ、昭和38年(1963)12月12日に東京で亡くなりました。ぴったり60歳の遷居を迎えた日に、誕生したのと同じ東京で死去したのです。時刻も同じだったかどうかは知りません。

小津が死んだ時、私は大學生でした。映画館に入っていて、映画に熱中していました。小津の死を知り、「巨星墜つ」という感慨を抱きました。小学生の頃から彼の映画が大好きで、封

切られると、必ずと言っていいほど観に行きました。どの作品も同じように好きで、甲乙つけがたいですが、やはり『東京物語』が最高の傑作だと思います。

小津は『東京物語』の制作意図を次のように語っています。

「この物語の老父母は、自分たちに対する子どもたちの愛情にふと幻滅を感じて淋しい気持ちに襲われる。ただそれだけで、私は、どちらの愛情を否定しようとか、また強調したりする気持ちは無い。強いて言えば、親子の関係を描く、そのことだ」

尾道に住む平山周吉(笠智衆)と妻のとみ(東山千栄子)の老夫婦が東京に行く支度をしている。隣家の細君が部屋の前を通りかかると、挨拶を交わす。周吉は「まあ今のうちに子供たちにも会つこうと思いついてなあと話す。

東京に着いた老夫婦は町医者をしている長男の幸一(山村聰)や美容院を経営している長女の志げ(杉村春子)の家を訪れる。しかし、長男と長女は多忙で

丁重に面倒を見られない。挙句の果てに老夫婦は熱海の温泉に追いやられるが、そこも落ちて置いて寛げる所ではなかった。早々に引き上げて帰って来てしまふ。

戦争で死んだ次男の未亡人の紀子(原節子)が、老夫婦と一緒にバスの東京見物に同行する。案内した後、住んでいるアパートに連れて来て二人を優しくもてなす。

老夫婦は東京の旅を終えて帰途につく。途中、とみが加減が悪くなり、大阪で下車し、国鉄に勤める三男の敬三(大坂志郎)の下宿で一泊する。

尾道に戻った後、とみが脳溢血で危篤になる。東京から幸一、志げ、紀子が駆けつけ、昏睡の母を徹夜で見守る。夜明けとともに母は死ぬ。出張中だった鉄道員の三男は母の死に目に会えなかった。

「香川京子」が兄や姉の薄情さを紀子に訴える。紀子は義父の周吉に昼過ぎの汽車で東京に帰ると告げる。周吉は紀子に亡き妻の時計を形見として渡す。

映画は、冒頭と同じ平山家の一室で、ぼんやりと海を眺めている周吉を映し出す。部屋の前を隣家の細君が通りかかる。

周吉「一人になると、急に日が永うなりますわい……」

細君「まったくなァ……。お寂しいごすなァ……」

周吉「いやァ……」

ポンポン蒸気が行き交う夏の瀬戸内海の遠景。映画は余韻を残して終わる。

「杉本武之プロフィール」

1936年 碧南市に生まれる。京都大学文学部卒業。翻訳業を経て、小学校教師になるために愛知教育大学に入学。25年間、西尾市の小中学校に勤務。定年退職後、名古屋大学教育学部の大学院で学ぶ。

趣味、読書と競馬。

「常滑市民文化会館」

あなたのギャラリー

文化の日記念文化振興事業常滑文芸コンクール常柳会作品展

14日(月)祝 午前九時(初日)同三時から、午後五時(最終日)同三時から、あなたのギャラリー

常滑市民文化会館 35-2920

文化の日記念文化振興事業常滑文芸コンクール常柳会作品展

14日(月)祝 午前九時(初日)同三時から、午後五時(最終日)同三時から、あなたのギャラリー

常滑市民文化会館

わが家のニューフェイス



佐藤楓(3才) 瀨(4才) 武豊町

愛と My Family



井上新大(2才) 愛花梨(4才) 創太(2才) 常滑市

写 真 ・ 文	に た く さ ん 大 き く な 。て ネ。	こ か が 糸 え ま せ ん が 二 人 で 一 緒	と 思 っ て い る 姉 妹 の た め 毎 日 ケ	す 。年 子 な の お 互 い 自 分 が 上 だ	り 、マ マ が シ ョ ッ ワ も 受 け て い ま	し っ か り 者 に な り ま せ ん。 最 近 益 々	に は 絶 対 に 譲 り ま せ ん。 最 近 益 々	好 き で お 姉 ち や ん	青 い 物 と お 菓 子 が 大	青 色 担 当 の で す。	佐 藤 家 の ア イ ド ル
------------------	---	--	--	--	---	--	---	--------------------------------------	---	----------------------------------	--------------------------------------



写 真 ・ 文	こ れ か ら も ろ 人 仲 良 く 遊 ぼ う ね。	お も ち を 取 り 合 っ ち や う け ど、	お や つ を 並 ん で 食 べ たり う け ど、	お 姉 ち や ん に つ い て 走 り 回 り	く る と 嬉 し く て 抱 き つ い ち や う よ。	ん が い て 毎 日 保 育 園 か ら 帰 っ て	い る ん だ 。ぼ く た ち は お 姉 ち や ん	お 腹 に い る と き か ら ず と 一 緒 に	に な り ま す 。マ マ の	で す 。も う す ぐ 2 才	ち は 井 上 創 太 、 新 大	こ ん に ち は 。ぼ く た
------------------	---	--	---	---	--	--	---	--	---------------------------------------	---------------------------------------	---	---------------------------------------



アトワスN ■ Kei
— 秋 —
中根 由美子 中根 啓 作品展

アトワスNの服 ■ Keiのベスト

2019・10・17[木]~21[月]
10:00~17:00

ウール素材を中心に、温もり感のある色に染めました。
バルーンワンピース・肩を包むベスト・はぎはぎの
楽しいパンツなどなど

じろべえ
煎茶 治郎兵衛
自家焙煎のスペシャルコーヒーに出会える店
〒470-2544 武豊町里中128-1
TEL:(0569)72-0160
FAX:(0569)89-6018
営業時間/8:00~17:00
定休日/火・水曜日

特殊詐欺に注意！
オレオレ詐欺の電話が多発中

登場人物① ニセ警察官からの電話

「詐欺のグループを捕まえたら、持っていたリストにあなたの名前があった」
「お金を引き出される恐れがある」
「すぐに金融庁の職員がいくので、職員の持参した風浪にキャッシュカードと暗証番号を記載した紙を入れて厳重に保管してください」

登場人物② ニセ金融庁職員が訪問

被害者宅を訪問してきたニセ職員(犯人)が持参した封筒にカードと紙を入れると…
「封印するので印鑑を用意してほしい。」
被害者が印鑑を取りに行くと…
ニセ職員(犯人)が、被害者に気づかれないように、別の封筒にすり替えて、ダマしとる

注目!!

- 警察官や金融機関、公共機関がキャッシュカードを預かることはありません
- 電話で振り込みを要求されたら振り込む前に必ず相談!
- 自宅の固定電話を留守番電話設定にし、犯人と会話しない環境を作りましょう